

Oxford Reading Tree Level 4 Stories

- ① House for Sale [109 語]
- ② The New House [120 語]
- ③ Come In! [109 語]
- ④ The Secret Room [195 語]
- ⑤ The Play [203 語]
- ⑥ The Storm [188 語]

注)このパックは続きもののため、上記の順番で読むことをお勧めいたします。また、
⑥ *The Storm* は Level 5 の *Magic Key* に繋がっています。

1. House for Sale 「売り家」 (109 語)

キッパー一家はいよいよお引越しをします。家族で家探しをしています。みんなが気に入るおうちが見つかりそうです。この本にはキッパー一家が全員登場します。オックスフォードリーディングツリーを初めてレベル 4 から読む場合でも、主要な登場人物がこの一冊でわかります。英語らしい前置詞もたくさん出てきます。すぐその庭に家から出ていくところで“*They went down the garden.*”と表現されていますが、こういう時に *down* と言えると英語力がつきます。

	1. House for Sale	売り家
1	This house was for sale.	このおちは売りに出ていました。
2-3	Dad liked the house. Mum liked it too.	パパはこのうちを気に入りました。 ママも気に入っています。
4-5	Biff and Chip looked at the house. Everyone liked it. Kipper pulled the wallpaper.	ビフとチップがおうちを見ている。 みんなが気に入りました。 キッパーは壁紙をひっぱっています。
6-7	They went into a room. Everyone liked this room. Kipper looked up the chimney.	家族は部屋に入ってみました。 みんながこの部屋を気に入りました。 キッパーはエントツを見上げています。
8-9	Biff wanted this bedroom. It was a big room. Kipper jumped on the bed.	ビフはこのベッドルームをほしいのです。 大きなお部屋です。 キッパーはベッドでジャンプしています。
10-11	Chip wanted this bedroom. It was a big room.	チップはこの部屋をほしがりました。 大きなお部屋です。

	Kipper sat on a chair.	キッパーはいすにすわってみました。
12-13	They went down the garden.	子どもたちは庭に出てみました。
	They looked at the tree house.	木の上のおうちを見てみました。
	Kipper climbed the tree.	キッパーは木に登りました。
14-15	Biff and Chip climbed the tree.	ビフとチップも木に登りました。
	They went in the tree house.	子どもたちは中に入ってみました。
	Kipper pulled a can down.	キッパーは缶をおろしました。
16	Everyone liked the house.	みんながこの家を気に入りました。
	Floppy liked it too.	フロッピーもです。

語句の解説

p.1 for sale: 売り出し中 p.4 look(ed) at ~: ~を見る

p.6 went into: go into 「~に入る」の過去形 p.7 look(ed) up ~: ~を見上げる

p.9 jump(ed) on: に飛び跳ねる p.12 went (go) down 下へ行く・降りる

p.15 pull (ed) down: を引っ張りおろす

Speech

レベル 4 の一冊目なので、登場人物の性格や様子をよく観察していきます。キッパー一家 5 名とフロッピーの中からひとりを選んで、セリフを考えてみましょう。複数の人数で行う際は、ひとりずつ違うキャラクターを選びましょう。

- 1) Choose your favorite character. 「お気に入りのキャラクターをひとり選びます。」
- 2) Prepare the stickies. 「付箋を用意します。」
- 3) Think of the phrases that each character might say on every page. 「それぞれのページでキャラクターが言いそうなセリフを考えます。」

- 4) Write down 3) on the stickies. 「3 を付箋に書きます。」
- 5) Put them on the books. 「付箋を本に貼ります。」

2. The New House 「新しいおうち」 (120 語)

お引越しは大忙しです。キッパー一家はそろってパッキングをしていきます。おうちの中には山のような物があふれています。どうやって運んでいくのかな。

	2. The New House	新しいおうち
1	A van came to the house.	トラックが家にきました。
2-3	“What a big van!” said Chip.	「なんて大きいんだ！」チップが言いました。
	“What a big man!” said Kipper.	「なんてでっかいおじさんなんだ！」キッパーが言いました。
4-5	The man looked at the things.	おじさんは荷物を見ました。
	“What a lot of things!” he said.	「なんていっぱいあるんだ！」と言いました。
6-7	Mum and Dad helped the man. They put things in the van. “What a job!” said Dad.	ママとパパもおじさんを手伝います。みんなでトラックに荷物を積みこみます。「なんて大変なんだ。」
8-9	The children helped too. Kipper put his toys in the van. Biff and Chip put the go-kart in.	子どもたちも助けました。キッパーはトラックに自分のおもちゃを積みました。ビフとチップはゴーカートを積みこみます。
10-11	They put a box in the van. “What a big box!” said Biff. “What a job!” said everyone.	みんなで箱をトラックに積みこみます。「なんておっきな箱！」ビフが言いました。「おー大変だ！」みんなが言いました。

12-13	“Goodbye,” said Biff. “Goodbye,” said Chip. “Come and play soon,” they said	「バイバイ」ビフが言いました。 「バイバイ」チップも言いました。 「またすぐ遊びにきてね。」みんな言いま した。
14-15	The van went to the new house. Dad looked at Biff and Chip. “Oh no!” said Biff and Chip.	トラックが新しいおうちに到着しました。 パパがビフとチップを見ました。 「あーあ。」ビフとチップは言いました。
16	“What a job!” they said.	「大変だなあ。」こどもたちは言いました。

語句の解説

p.1 van バン・小型トラック p.2 What a～ なんて～なんだろう p.4 thing(s) 物
p.7 job 仕事・役割・すべきこと p.13 soon すぐに

Pointing

お引越し準備のために次々と荷物をトラックに積んでいきます。これは文章の単語を絵の中にみつけ、指差すことで意味や文字と音の関係を確認していくアクティビティーです。ペアで行うので、話すときは相手を見ることなども習慣づけましょう。本文の内容が終わったら、絵の中に出てくる単語を使ってポインティングすると語彙がさらに増やせます。生徒の数やレベルが異なりペアワークが難しい場合は、先生が文を言い生徒が指すというようにしてもよいでしょう。

1. Make pairs. 「ペアーになります。」
2. Student A will read the sentences. 「生徒Aが文章を読みます。」Student B will point to the pictures showing the words read by student A. 「生徒Bは読まれた単語の絵を指さしていきます。」この時にはじめてのページから行ってもよいですし、任

意の好きなページを読んでもらってもよいでしょう。

例：生徒 A が p.2「“What a big van!”said Chip.」と読む。

生徒Bは、それを聞きながら左手にあるトラックを指し、チップを指さしていく。

3. Change parts. 「交代します。」

3. Come In! 「入って！」(109 語)

お引越した家に、子どもたちのお友達が次々と遊びにきます。もてなしぶりはどうでしょう。欧米で子どもが友達を訪ねる時には、保護者が車で送り迎えしたり、スクールバスで同じ停留場で降ろしてもらったりするようです。治安上の問題もあり、比較的大きくなるまで、ひとりではあまり出かけないようです。

	3. Come In !	入って
1	Dad was painting the door. Mum went out	パパはドアにペンキを塗っています。 ママは出かけました。
2-3	Wilf and Wilma came to play. “Come in,” said Dad.	ウィルフとウィルマが遊びにきました。 「入って。」とパパが言いました。
4-5	Three children came to the house. They came to play with Biff. “Come in,” said Biff.	子どもが3人うちに来ました。ビフと遊びに きたのです。 「入って。」とビフが言いました。
6-7	Four children came to the house. They came to play with Chip. “Come in,” said Chip.	子どもたちが4人、家にきました。チップと 遊びにきたのです。 「入って。」チップが言いました。
8-9	Five children came to play. They wanted to play with Kipper. “Come in,” said Kipper.	子どもたちが5人遊びにきました。キッパー と遊びにきたのです。 「入って。」キッパーが言いました。
10-11	Mum came home. “What a lot of children!” “What a mess!” she said.	ママが帰ってきました。 「たくさんいるわね！」 「うわ、めちゃくちゃ。」ママが言いました。

12-13	Mum looked for Biff, Chip and Kipper. They were watching television. Mum was cross.	ママはビフ、チップ、キッパーを探しました。3人はテレビを見ていました。ママは怒りました。
14-15	Mum gave the children some biscuits. They all went home.	ママは子どもたちにビスケットをあげました。みんなが帰りました。
16	Mum went outside. "Oh no!" said Mum.	ママは外に出ました。 「あらまあ。」

語句の解説

p.4 play with と遊ぶ p.8 want (ed) to をしたかった

p.11 a lot of ~たくさん ~ mess 散らかった状態・ごちゃごちゃした様子

p.12 look (ed) for 探す

Counting

新しい家にはおともだちが、たくさん遊びにきました。来たのは子どもたちだけではありません。ワンちゃんたちもフロッピーを訪ねてやってきました。どんどん増えてきます。絵を眺めながら数にもふれていきましょう。three, four, five, seven, eleven, twelve, thirteen, fourteen など f, v, th など英語の発音にも注意しましょう。

まずは、ページにある絵から人や犬の数を一緒に数えて練習していきます。

1. Open your book to page 4. 「4 ページを開きましょう。」
2. Count the number of people. 「人の数を数えましょう。」
3. How many people are there? 「何名いますか。」
4. One, Two, Three, Four, there are four people. 「1, 2, 3, 4、4 名いるね。」

次に人と犬の数をいい、生徒は数えて該当するページを開きます。

5. I see nine people and six dogs. 「人が 9 名と犬が 6 名います。」Find the pages with nine people and six dogs. 「人が 9 名で犬が 6 名いるページを開こう。」
6. They are on page 8 and 9. 「8-9 ページ。」

人と犬の数

ページ	人	犬	ページ	人	犬	ページ	人	犬
1	2	1	6-7	5	5	12-13	4	1
2-3	3	1	8-9	10	6	14-15	13	1
4-5	5	4	10-11	11	0	16	2	14

4. The Secret Room 「秘密部屋」 (195 語)

新居にはなんと秘密部屋があったのです。壁紙を張りかえるときに、ドアが見つかります。また、欧米では、家に関しては古いものを大切に直しながら住むようです。祖先が残したものを、「これはだれだれのカーペット」というようにずっと長持ちさせているのをよく見かけます。

	4. The Secret Room	秘密部屋
1	Biff and Chip liked the new house. They helped Mum and Dad.	ビフとチップは新しいおうちが気に入りました。 ふたりはママとパパを助きました。
2	Mum put wallpaper on the wall. Chip helped her.	ママが壁紙をはっていきます。 チップが手伝います。
3	Dad painted a door. Biff helped him.	パパがドアを塗ります。 ビフが手伝います。
4	Biff was in her room. Dad looked at the wallpaper.	ビフはお部屋にいます。 パパが壁紙を見ます。
5	Biff wanted new wallpaper.	ビフは新しい壁紙をほしいのです。
6	They went to the wallpaper shop.	みんなで壁紙ショップにいきました。
7	Biff looked at the wallpaper. She liked this wallpaper.	ビフが壁紙を見ます。 ビフはこれが気に入りました。
8	Mum and Dad pulled the wallpaper off.	ママとパパが壁紙をはがします。
9	Biff and Chip helped.	ビフとチップは手伝います。

	“What a job!” said Chip.	「大変だ！」チップが言いました。
10	Biff found a door.	ビフがドアを見つけました。
11	The door was stuck.	ドア動きません。
12	Mum opened the door. She found a room.	ママがドアを開けました。 部屋がありました。
13	Everyone looked inside.	みんなで中を見てみました。
14	Mum went into the secret room. She found a little house.	ママが秘密の部屋に入っていくと、小さな おうちを見つけました。
15	“It looks like our house,” said Mum.	「私たちのおうちみたいね。」ママが言 いました。
16	Biff opened the little house. Everyone looked inside	ビフが小さなおうちを開けてみました。 みんなで中を見ました。
17	“It looks like our house inside,” said Biff.	「私たちのおうちみたい。」とビフが言 いました。
18	Kipper found a little dog. “Look at this little dog,” said Kipper.	キッパーはちっちゃな犬を見つけまし た。「このちっちゃな犬を見て。」キッパ ーが言いました。
19	“It looks like our dog. It looks like Floppy.”	「ボクたちの犬みたい。フロッピーみ たい。」
20	Chip found three little children.	チップは 3 人の小さな子どもたちを見 つけました。
21	“Look at the children,” said Chip. “They look like us.”	「子どもたちを見て。」チップは言いま した。「ボクたちに似てるね。」
22	Biff liked her bedroom. She liked the secret room too.	ビフは自分のベッドルームが気に入りま した。秘密の部屋も気に入っています。

23	Dad painted the secret room. Biff put things inside.	パパが秘密の部屋を塗りました。 ビフは中に物を運びます。
24	Biff was in bed. She was fast asleep. She dreamed about the little children.	ビフはベッドに入りました。 ぐっすり寝ています。小さな子どもたちの ことを夢で見っていました。

語句の解説

p.2 wallpaper 壁紙 on the wall 壁に p.8 pull ~ off ~を引きはがす
 p.11 stuck つまる・挟まる・つかえる p.15 look (s) like のように見える
 p.24 dream 夢をみる(英語では「夢を見る」のは、“dream”の1語で言えます。
 「見る」“watch”, “see”などの語はつけません。)

Compound Words

The Secret Room には 2 つ以上の単語が結びつき、別の言葉になった複合語がたくさん出てきます。たとえば greenhouse「温室」などです。いくつ見つけられるでしょうか。

- 1) Find the words consisting of two or more separate words. 「2 つ以上の単語が結びついてできた単語をあげましょう。」
- 2) How many words could you find? 「いくつ見つかったでしょうか。」List the words. 「リストアップしてみましょう。」
- 3) 黒板に書いていきます。

wallpaper= ___ + ___ ,everyone= ___ + ___ ,
 inside= ___ + ___ , bedroom= ___ + ___

4) 次に何ということばで出来ているのかを、書き込みます。

wallpaper=wall + paper, everyone=every + one,
inside=in + side, bedroom=bed + room

5) 本に出てくることばでことばを作ってみましょう。

paint→paintbrush, dog→doghouse, bed→bedcover, door→doorman,
room→roommate

5. The Play 「劇」 (203 語)

The Play ではみんなが学校に行っている間に、天気が変わっていきます。悪天候のために行った劇でしたが、楽しい一日になりました。

	5. The Play	劇
1	Biff and Chip went to school. They went with Wilf and Wilma.	ビフとチップは学校へ行きました。 ウィルフとウィルマと一緒にです。
2	Biff and Chip liked Mrs May. They were in her class.	ビフとチップはメイ先生が好きです。 ふたりはメイ先生のクラスです。
3	Wilf liked Mrs May. He was in her class too.	ウィルフは、メイ先生が好きです。 ウィルフもメイ先生のクラスです。
4	It was story time	読み聞かせの時間です。
5	The story was <i>The Wizard of Oz</i> . It was about a girl and her dog.	お話は『オズの魔法使い』です。 女の子と犬のお話です。
6	The girl was Dorothy.	女の子はドロシーと言います。
7	There was a storm. The wind blew the house away.	嵐が起きました。 風でおうちが吹き飛ばされてしまいました。
8	Dorothy met the Scarecrow. She met the Tin Man. She met the Lion.	ドロシーはかかしに会いました。 ブリキのきこりにも会いました。 ライオンにも会いました。
9	Dorothy met a witch.	ドロシーは魔女にも会いました。
10	There was a storm. It was a playtime.	嵐になりました。 ちょうど休み時間でした。

11	The children couldn't play outside.	子どもたちは外で遊べませんでした。
12	The children played inside. They played <i>The Wizard of Oz</i> .	子どもたちは中で遊びました。 「オズの魔法使い」の劇をしました。
13	Mrs May liked the little play.	メイ先生は短い劇が好きです。
14	Mrs May put on a play. The play was <i>The Wizard of Oz</i> .	メイ先生は上演しました。 劇は『オズの魔法使い』です。
15	Wilf's mum helped Mrs May.	ウィルフのママがメイ先生を手伝います。
16	Chip was the Tin Man. Wilf was the Lion.	チップはブリキのきこりです。 ウィルフはライオンです。
17	Biff was a witch.	ビフは魔法使いです。
18	Wilf's dad helped Mrs May. He painted a house	ウィルフのパパはメイ先生を手伝います。 おうちを描きました。
19	The children helped him.	子どもたちはウィルフのパパを手伝います。
20	The mums and dads came. They liked the play.	ママやパパたちが来ました。 みんなは劇を気に入りました。
21	"What a good play!" they said.	「なんて素晴らしい劇なのだろう。」とみんなは言いました。
22	The children liked the play. They gave Mrs May some flowers.	子どもたちは劇が好きです。 みんなはメイ先生にお花を渡しました。
23	"It was good fun," said Wilf.	「すごく楽しかったです。」ウィルフが言いました。
24	It was time to go home. There was a storm. "It's like the play," said Chip.	おうちに帰る時間になりました。 嵐でした。 「まるで劇みたいだ。」チップが言いました。

語句の解説

p.5 The Wizard of Oz 『オズの魔法使い』 書名や雑誌名は字体を斜体に変えたり、線を引いたり、大文字で始まりの単語をしめして区別します。

p.7 blew (blow) ～away ～を吹き飛ばす p.10 playtime 学校の遊び時間

p.14 put on 上演する p.23 fun 楽しみ・おもしろい事(a はつけません。)

Ask Questions

The Play では「オズの魔法使い」のお話を聞いて、そのままみんなで演じて楽しんでいきます。ハロウィーンの季節などに、仮装して本の通りに演じてみても盛り上がります。絵本ではいろいろなお天気が紹介されています。お天気の変化を観察してみることもできます。ここでは、レベル4に進み読解力もついてきたので、質問作りにチャレンジします。

1) Prepare the cards with six interrogatives on. what where who which why
how

「6つの疑問詞を書いたカードを用意します。」「何」「どこ」「だれ」「どちら」「なぜ」「どのように」

2) Give examples. 「例をしめします。」Underline the words you want to ask. Then replace them with the interrogatives. 「質問したい単語に線を引きます。そこを疑問詞に変えます。」

例: p.1 Biff and Chip went to school.この文章で Biff and Chip を聞きたい場合に「誰か」を質問するので、who にします。そこで Who went to school? と疑問文を作ります。

- 3) 人数に合わせてページを割り当て、グループまたは個人で疑問文を作ります。
4) 作った疑問文に答えていきます。

6. The Storm 「嵐」 (188 語)

	6. The Storm	嵐
1	Wilf and Wilma came to the house. They came to play.	ウィルフとウィルマが家にきました。遊びにきたのです。
2	The children went outside. They climbed the tree.	子どもたちは外に出ました。木に登りました。
3	They looked in the tree house. "What a mess!" said Biff.	木の家を見ました。「ぐちゃぐちゃ！」ビフは言いました。
4	Dad helped the children. He mended the roof.	パパが子どもたちを手伝いました。屋根を直しました。
5	Biff and Wilma mended the door.	ビフとウィルマがドアを直します。
6	Chip and Wilf painted the tree house.	チップとウィルフは木の家を塗ります。
7	Wilf painted the door. Chip painted the walls.	ウィルフはドアを塗ります。チップは壁を塗ります。
8	The tree house looked good. The children put things inside.	木の家はよく見えました。子どもたちは中に物を運びました。
9	They had a party in the tree house.	子どもたちは中でパーティーをしました。
10	It was bedtime. Biff was in her room.	眠る時間になりました。ビフは部屋にいます。
11	Biff looked outside.	ビフは外を見ました。

	There was a storm.	嵐です。
12	It was time for school. Wilf and Wilma came.	学校に行く時間です。 ウィルフとウィルマがきました。
13	“What a storm!” said Mum.	「なんていう嵐なの！」ママが言いました。
14	The wind blew. The rain came down.	風が吹きました。 雨も降りつけます。
15	“What a storm!” said Mrs May.	「なんていう嵐なの！」メイ先生が言いました。
16	It was time to go home. The mums and dads came.	家に帰る時間になりました。 ママやパパが迎えにきました。
17	“What a wind!” they said.	「なんていう風！」親たちが言いました。
18	“Oh no!” said Biff. The tree was down.	「あーあ！」ビフが言いました。 木が倒れてしまいました。
19	“What a mess!” said Kipper.	「めっちゃめっちゃだ！」キッパーが言いました。
20	The children climbed on the tree. Floppy barked and barked.	子どもたちが木に上りました。 フロッピーがわんわんほえています。
21	Floppy found something. It was a box.	フロッピーが何かを見つけました。 箱です。
22	Everyone looked at the box. Mum opened it.	みんなで箱を見ました。 ママが開けました。
23	They found a key inside.	中には鍵が入っていました。
24	Chip wanted the box. He put it in his room.	チップは箱がほしいのでした。 自分の部屋に置きました。

語句の解説

p.2 climb (ed) 登る・上がる p.4 mend (ed) 修理する・直す
p.12 time for~ ~の時間 p.20 bark (ed) 吠える(犬やキツネなどに使う)

A Key

嵐で木がなぎたおされて、大切な木のおうちが壊れてしまいます。しかし木の根っこからは鍵の入った箱が発見されることになるのです。鍵は何に使われるのでしょうか。何の鍵なのでしょう。実はこの鍵は次のレベルで大切な役割を果たす重要なものなのです。ここで、興味を引いておきましょう。

- 1) Open your book to page 23. Examine the key. Give the characteristics of the key.
「23 ページを開けます。鍵をよく観察しましょう。特徴をあげてみましょう。」
実際に家の鍵を見せて、本と比較して、形、色、大きさ、素材などについて想像しながらあげてみましょう。
- 2) Put the characteristics on the paper one by one. 「紙にひとつひとつ特徴を書いていきましょう。」
例: The key is gold. 「金色です」 It is big. 「大きいです。」 It must be a magic key. 「魔法の鍵にちがいない。」など特色をひとつずつ別の紙に文字と絵で描き保存しておきましょう。

Oxford Reading Tree Level 4 More Stories A

- ① Nobody Got Wet [97 語]
- ② The Weather Vane [107 語]
- ③ Poor Old Mum! [84 語]
- ④ The Wedding [197 語]
- ⑤ The Camcorder [182 語]
- ⑥ The Balloon [177 語]

Nobody Got Wet 「だれもぬれない」 (97 語)

お休みの日に、みんなでピクニックに出かけるという光景を欧米ではよく見かけます。川下りは楽しいですが、安全に遊べるように気をつけなければならないこともたくさんあります。むやみに立ちあがるとバランスが崩れます。川ではカヌーをする場合もあります。

	Nobody Got Wet	だれもぬれない
1	Dad got a boat.	パパがボートをささえています。
2	Everyone sat in the boat.	みんながボートに乗り込みました。
3	Dad pushed the boat out.	パパがボートを岸から押し出しました。
4	Oh no! Dad was stuck.	あれ！パパが宙ぶらりんになっちゃった。
5	Mum pulled Dad. Wilma pushed the boat.	ママがパパを引っ張ります。 ウィルマはボートを押します。
6	They went down the river. Nobody got wet.	川下りをします。だれもぬれていません。
7	“What a good job!” said Mum.	「よかったわ。」ママが言いました。
8	They had a picnic.	みんなでピクニックをしました。
9	It began to rain. But nobody got wet.	雨が降り始めました。 でも誰もぬれませんでした。
10	The boat floated away.	ボートが流れていってしまいました。
11	“Oh no!” gasped Mum. “Help me get the boat.”	「あらー！」とママが叫びました。 「ボートをつかまえに行くのを手伝って。」
12	Mum pulled the boat in.	ママがボートを引っ張りました。

13	“Don’t let me fall in,” said Mum.	「私が落ちないようにしてね。」ママが言いました。
14	Mum didn’t get wet.	ママはぬれませんでした。
15	“Nobody got wet,” said Dad. It was time to go home.	「誰もぬれなかったね。」パパが言いました。家に戻る時間になりました。
16	Oh no! Everyone got wet!	うわーっ！みんなぬれちゃった。

語句の解説

表紙 got(get) wet ぬれる p.4 be stuck はさまって、つかえて
 p.9 began (begin) to ~ ~し始める p.10 float(ed) away 流れていく
 p.11 gasp 驚きなどで息を飲む、あえぎながら言う p.15 It was time to ~ ~する時間

A Teddy Bear

ひと安心と思った矢先にみんなずぶぬれになってしまいましたね。でも、一番こわかったのはテディベアかもしれません。テディベアはボートに取り残されていたのですから。

- 1) Find the Teddy Bear. 「テディベアを探します。」
- 2) Where is it? 「どこにいるでしょうか。」 It is on page 1,7,8,11,13,14,16.
 「1,7,8,11,13,14,16 にいます。」
- 3) What do you think the bear is feeling on each page? 「それぞれのページでどう感じているのでしょうか。」 Write the speech bubbles. 「せりふを考えて吹き出しを書いてみましょう。」
 例 : p.1 I’m ready to sail. 「ボートに乗る準備ができたよ。」
 p.7 I’m wet! 「濡れちゃったよ。」
 p.8 It’s cold! 「寒いよ。」

p.11 Help me! 「助けてよ。」

p. 13 Don't let me fall in. 「落ちませんように。」

p. 14 Now I'm alright. 「ほっ、助かった。」

p. 16 I got wet again. 「また濡れちゃったよ。」

The Weather Vane 「風向計」 (107 語)

ウィルフとウィルマが風向計をぴょんと飛んでいます。建物を飛んでいるのでしょうか。実はそれにはトリックが。a tall story というのは「ほら話」のことを言いますが、ここでビフが“What a tall story!”と言っているのは、実際に風向計が高い場所にあるので「高い」という意味もこめて言っているのかしれません。

	The Weather Vane	風向計
1	Dad went to the building site. He took Wilf and Wilma.	パパはビル建設地に行きました。フィルフとウィルマを連れていきました。
2	They looked at the crane.	みんなはクレーン車を見ます。
3	Wilma spoke to the man in the cab.	ウィルマは、運転席にいる男性に話しかけます。
4	A van came to the building site.	ライトバンがビル建設地に来ました。
5	It had a weather vane on the back.	後ろに風向計を積んでいます。
6	Wilf looked at the weather vane.	ウィルフは風向計をながめます。
7	Dad had an idea.	パパが思いつきました。
8	Wilf jumped over the weather vane.	ウィルフが風向計を飛び越しました。
9	“Be careful,” said Dad.	「気をつけてね。」パパが言いました。
10	“Take a photograph,” said Wilma.	「写真を撮ろう。」ウィルマが言いました。

11	She jumped over the weather vane.	ウィルフが風向計を飛び越します。
12	The weather vane went on the roof.	風向計が屋根に取り付けられました。
13	Wilf took a photograph.	ウィルフが写真を撮りました。
14	“See the weather vane,” said Wilf. “We’ve jumped over it,” said Wilma.	「風向計を見てごらん。」ウィルフが言いました。「あの上を跳び越したのよ。」ウィルマが言いました。
15	“What a tall story!” said Biff.	「なんていうほら話なの！」ビフが言いました。
16	But Wilf had a photograph. “See,” he said.	でも、ウィルフが写真を持っていました。「ねえ。その通りでしょう。」

語句の解説

表紙 weather vane 風向計 (雄のニワトリの形のもののは weathercock)

p.1 site 敷地・現場 p.2 crane クレーン p.3 cab (クレーンの)運転室・タクシー

p.15 tall story ほら話

Find silent “e”

この本には van, vane のように単語の終わりに“e”をつけることで、読み方が変わる単語が出てきます。発音のルールを確認しながら、探してみましょう。

- 1) Find silent “e” words. 「マジック“e”の言葉を探しましょう。」
- 2) Write down the magic silent “e” words on the whiteboard. 「マジック」の単語をホワイトボードに書いていきます。

例 : p.1 site p.2 crane p.3 spoke p.4 came

p.5 vane p.10 take

- 3) Color and pronounce each word. 「それぞれの単語に色を塗り、発音してみます。」発音をしてみる際に、先生が指でマジック“e”を隠して、語尾の“e”がなかったらどのように発音するのかを確認します。それから“e”がある場合の発音をしていくと、ルールがはっきりしてきます。

site

- 4) ホワイトボードにあげた中で、“e”をとっても単語として成り立つのは何でしょうか。
site→sit ですね。

Poor Old Mum 「かわいそうなママ」(84 語)

せっかくがんばって走ったのに、ウィルマのママはビリで到着します。でも大丈夫。家族の温かい励ましがあります。

Poor Old Mum!	かわいそうなママ!
1 It was sports day.	スポーツの日です。
2 Wilma was in the long jump.	ウィルマは幅跳びをしています。
3 She came first.	一位でした。
4 Wilf and Chip were in a race. They came second.	ウィルフとチップはレースに出ています。2 位でした。
5 "Hooray!" shouted Kipper	「やったー！」キッパーが叫びました。
6 Dad was in the egg and spoon race. He came third.	パパは卵スプーンレースに出ました。3 位 でした。
7 "Well done, Dad," shouted Wilf.	「がんばったね。」ウィルフが叫びました。
8 Mum was in a race.	ママがレースに出ています。
9 "Oh no!" said Wilma.	「あーあ。」ウィルマが言いました。
10 Mum came last.	ママはビリでした。
11 "Poor old Mum," said Wilf.	「かわいそうに、ママ。」ウィルフが言いま した。
12 Mum was disappointed	ママはがっかりしました。
13 "What a shame!" said Dad.	「なんて残念な！」パパが言いました。
14 Dad put a blindfold on Mum.	パパはママに目隠しをしました。

15	Wilf and Wilma had a surprise.	ウィルフとウィルマは意外なプレゼントを用意しました。
16	"Good old Mum," said everyone.	「かわいそうだけどよいママに。」みんなが言いました。

語句の解説

表紙 poor かわいそうな・貧しい p.2 a long jump 幅跳び
 p.5 hooray 万歳、フレー(励ますときの言葉) p.7 well done よくできました
 p.12 was (be) disappointed がっかりする p.13 shame 残念・恥
 p.14 a blindfold 目隠し p.15 a surprise (よいことで)驚くこと・意外なこと

何番目

“Poor Old Mum!”には5種目が描かれています。p.3には高飛び“the high jump”をしている姿も見えます。いろいろな競技を楽しみながら、序数の言い方も覚えていきましょう。本からひとつ種目を選びます。その種目をやっているつもりでゲームをしましょう。まずは、先生が“You are in ~”. と種目の名前を言います。

- 1) Write down seven squares in a line. 「7つ四角を描きます。」
- 2) Students do stone, paper, scissors with the teacher. If the students win, they can step forward. 「先生とじゃんけんをして、勝ったらひとマス進みます。」
- 3) Continue until one student reaches the goal. 「ひとりがゴールに達するまで続けます。」
- 4) All the students make a line according to how far they progress. 「進んだマスの数に従って、列を作ります。」
- 5) Each student will say, “I came first(second, third, fourth,,,)”

The Wedding 「結婚式」 (197 語)

結婚式で花嫁の付き添いをするにあたり、ウィルフは心配しています。家族が遠方から集まり、力を合わせて用意していきます。みんな楽しそうです。家族になるという意味もじっくり考えてみましょう。

	The Wedding	結婚式
1	Jo was Mum's sister. She was getting married.	ジョーはママの姉妹です。 もうすぐ結婚します。
2	Wilma was happy. She wanted to be a bridesmaid.	ウィルマはしあわせです。 花嫁の付き添いをしたかったのです。
3	Wilf was unhappy. He didn't want to be a pageboy.	ウィルフはいやでした。 ウィルフは花婿につきそう少年にはなりたくないのです。
4	The Grandparents came. They came for the wedding.	おじいさんとおばあさんがやってきました。 結婚式に来たのです。
5	"What a journey!" they said.	「やっかついたよ。」ふたりは言いました。
6	Mum made Wilma's dress. Grandmother helped.	ママがウィルマのドレスを縫いました。 おばあさんが手伝います。
7	Wilf looked at the material "Oh no!" he thought.	ウィルフが素材を見えています。 「冗談じゃない！」ウィルフは思いました。
8	Grandmother made the cake. Wilma put a bride and groom on it.	おばあさんがケーキを作りました。 ウィルマが花嫁と花婿をのせます。
9	"It's wonderful," said Jo.	「すてきだわ。」ジョーが言います。

10	Wilma's dress was finished. Biff and Chip came to see it.	ウィルマのドレスが出来上がりました。ビフとチップが見に来ました。
11	"I like weddings," said Chip. "I don't," said Wilf.	「結婚式は好きだな。」チップが言いました。「ボクは嫌いさ。」ウィルフが言いました。
12	Jo took Wilf's measurements. She gave them to Mum.	ジョーがウィルフを採寸しました。ママに伝えます。
13	Wilf was unhappy. He didn't want to be a pageboy.	ウィルフはいやです。ページボーイにはなりたくないのです。
14	Mum had been shopping	ママはお買い物に行っていました。
15	She had a surprise for Wilf. "What is it?" asked Wilf.	ウィルフに思いがけないものを買ってきました。 「なに？」ウィルフは聞きました。
16	"It's a suit," said Mum. "You're not a pageboy," said Jo.	「スーツよ。」ママが言いました。「花嫁につきそう少年ではないのよ。」ジョーが言いました。
17	"It was a joke," said Grandmother.	「冗談よ。」おばあさんが言いました。
18	It was the day of the wedding.	結婚式の日を迎えました。
19	Dad made a video. Biff took a photograph.	パパがビデオを取ります。ビフは写真を撮ります。
20	Wilf liked his suit. He was glad he wasn't a pageboy.	ウィルフはスーツを気に入りました。花嫁につきそう少年ではなくて喜びました。
21	He was happy. Everyone was happy.	ウィルフは幸せでした。みんなも幸せです。

22	There was a big party. Everyone danced.	大きなパーティーがありました。 みんなで踊りました。
23	"I like weddings," said Wilf.	「結婚式は好きだな。」ウィルフが言いました。
24	"Will you get married?" asked Wilf. "I don't know," said Wilma.	「結婚する？」ウィルフが聞きました。 「わからない。」ウィルマが言いました。

語句の解説

p.1 get (ting) married 結婚する p.2 bridesmaid 花嫁に付き添う未婚女性
 p.3 pageboy 花嫁につきそう少年 p.7 material 素材・材料
 p.8 bride 花嫁 groom 花婿 p.12 took (take) measurements 寸法を取る
 p.15 a surprise 思いがけないもの・驚くもの p.24 Will you~? ~していただけますか。

結婚式について:

イギリスの結婚式も教会 (Church) やお役所 (registry office) のような所で行い、それからパーティーを開くようです。パーティーは、パブ、ホール、レストランなどで行うのが一般的ですが、広いお宅の場合は、自宅で開く場合もあります。お食事にはケータリングを利用するようです。お祝いには、現金ではなく、物を渡す習慣です。大きなものでは洗濯機などから毛布まで、予算に合わせて用意します。

A Family Tree

ママの姉妹のジョーが結婚を控え、遠方からも集まります。みんなで準備をしながら祝福されて結婚式を迎えます。家族のつながりの尊さ、家族とはどういうものなのか考え

てみたいですね。

- 1) Write down the Wilf's family tree. 「家系図を描きます。」
- 2) Give the names of each person in Wilf's family. 「ウィルフの一家の名前をあげましょう。」
- 3) Choose one person from the family above. You'll be that person.
「上からひとり選びます。その人になります。」
- 4) Draw your family tree. 「家系図を書きます。」
- 5) Talk about your family tree. 「家系図について話をします。」家系図からは、どんなことがわかるでしょうか。家系が続いていることやひとりひとりが家族に支えられている存在であることなど感じる事ができるでしょう。p.20-21 の絵にはたくさんの人々が集まっています。人と人とのつながりの中に家族があるということを実感しましょう。

The Camcorder 「ビデオカメラ」 (182 語)

記念に撮影するために購入したビデオでしたが、思わぬことで役に立ちます。記憶に残したい大切な瞬間はもちろんのこと、防犯対策にもなりますね。悪い人に会った時にどのように対応したらよいのかも、この機会に話し合うチャンスです。

この本には「見る」という言い方が複数出てきます。watch, see, look at などとどういふふうに使っていくのかについても覚えておきたいです。

	The Camcorder	ビデオカメラ
1	Dad bought a camcorder.	パパがビデオを買いました。
2	The children had a race. Dad made a video.	子どもたちはレースをしました。 パパがビデオをとりました。
3	“Smile everyone,” said Dad.	「笑って。」パパが言います。
4	Dad went to the sports day. He took the camcorder.	パパはスポーツの日にてかけました。 ビデオを撮りました。
5	He made a video of Wilma.	パパはウィルマのビデオを撮りました。
6	It was Jo’s wedding. Dad took the camcorder.	ジョーの結婚式です。 パパはビデオを持っていきました。
7	He made a video of the wedding.	結婚式のビデオを撮ります。
8	It was Mum and Dad’s anniversary. Wilma wanted to make a video.	パパとママの記念日です。 ウィルマがビデオを撮りたがっています。
9	Dad showed Wilma the camcorder. “It’s easy,” he said.	パパがウィルマに説明します。 「簡単だよ。」パパが言いました。

10	Wilma made the video. "It's easy," she said.	ウィルマがビデオを撮ります。 「簡単ね。」ウィルマが言いました。
11	"Smile please!" said Wilf.	「笑って！」ウィルフが言いました。
12	The children watched the race. They saw the sports day.	子どもたちはレースを見ました。 スポーツデイを見ました。
13	They looked at Jo's wedding. They laughed at Wilma's video.	ジョーの結婚式も見ました。 ウィルマのビデオには笑いました。
14	They went to the tree house. Wilma wanted to make a video.	木のおうちに行ってみました。 ウィルマはビデオを撮りたがっています。
15	Dad let her use the camcorder.	パパはビデオを使わせてあげました。
16	Wilma made the video. She saw two men.	ウィルマがビデオを撮りました。 二人男性が見えます。
17	They were burglars.	どろぼうです。
18	The burglars were running away. Wilma made a video of them.	どろぼうが逃げていきます。 ウィルマはそれをビデオに撮りました。
19	"Call the police," she shouted.	「警察を呼ぼう。」ウィルマは叫びました。
20	Dad got the phone. He phoned the police.	パパは電話を持ちます。 警察に電話をかけます。
21	Wilma got the burglars on video.	ウィルマはビデオ撮影をします。
22	The police came. They looked at the video.	警察が来ました。 ビデオを見ました。
23	"Well done!" they said.	「よくやった！」警察は言いました。
24	The police caught the burglars. "Thanks to Wilma," said Dad	警察がどろぼうをつかまえました。 「ありがとう、ウィルマ。」パパが言いました。

語句の解説

表紙 a camcorder ビデオカメラ(camera と recorder がくっついてできた単語です。)

p.4 took (take) a camcorder ビデオを撮る

p.5 made (make) a video of ～～のビデオを撮る

p.9 easy 簡単な p.12 watch (ed) 注意してみる saw (see) 見える(自然に)

p.13 look(ed) at～ ～を見る laugh(ed) at ～ ～を笑う p.15 let A B AにBさせる

p.17 burglar (s) どろぼう p.19 the police 警察 (複数扱い)

Meaning of “s”

この本には「だれの・何の」を意味する’s や複数形を表わす単語の終わりにつける“s”、“is” の省略形の“s” などいろいろな“s”が出てきます。ここでは「だれの・何の」を意味する“s(アポストロフィーエス)”を文章からひろってみましょう。

また“it’s easy.”は“it is” の省略形の“s”です。burglars などの“s”は複数形です。

1) Listen to the CD and underline the possessive “’s” with your favorite color. 「CDを聞いて、所有格のsに好きな色で線を引いてみましょう。」

例: p.6 It was Jo’s wedding. p.8 It was Mum and Dad’s anniversary.

p.13 They looked at Jo’s wedding. They laughed at Wilma’s video.

2) Open your book to page 13. Express the video you watched by saying “I looked at (name)’s (things).”

The Balloon 「気球」 (177 語)

表紙にはりっぱな気球がうつついています。いったいどこに行くのでしょうか。
気球に乗るチャンスはめったにありません。

	The Balloon	気球
1	The children were outside. A hot air balloon went by.	こどもたちは外にいます。 熱気球が通りすぎました。
2	Mrs May had a secret. She told Wilf what it was.	メイ先生はひみつがありました。 ウィルフにそれが何かを伝えました。
3	She wanted to go in a balloon.	ウィルフは気球にのりこみたいようです。
4	It was time to watch television. The television went wrong.	テレビの時間になりました。 テレビがおかしいです。
5	“Oh no!” said Mrs May.	「あらまあ。」メイ先生が言いました。
6	The photocopier went wrong.	コピー機が壊れてます。
7	“Oh blow!” said Mrs May.	「あーあ」やりすぎたわ！」メイ先生が言いました。
8	The computer went wrong.	パソコンが変です。
9	“Oh bother!” said Mrs May.	「あらあら。」メイ先生が言いました。
10	Wilf and Wilma came home. They had a letter.	ウィルフとウィルマが家に戻ります。 手紙がきました。
11	The school wanted money. Wilf had an idea.	学校にはお金が必要でした。 ウィルフには考えがありました。
12	Everyone liked Wilf’s idea. “It’s a good idea!” everyone said.	みんなウィルフの考えを気に入りました。 「よい考えだわ！」みんなで言いました。

13	Everyone bought tickets.	みんなが券を買いました。
14	Mrs May bought lots of tickets.	メイ先生はたくさん券を買いました。
15	She wanted to go in the balloon.	気球に乗りたがっています。
16	Mrs May won the prize. She won a ride in the balloon.	メイ先生は商品をいただきました。 気球 1 回分があたりました。
17	'Hooray!' said Wilf.	「やった！」ウィルフが言いました。
18	Mrs May went up in the balloon 'Hooray,' shouted everyone.	メイ先生は空高く上がって行きました。 「やっほー！」みんなが叫びました。
19	'It's wonderful,' said Mrs May.	「すばらしいわ。」メイ先生が言いました。
20	Mrs May saw the stream. She saw the houses.	メイ先生は小川を見ました。 家も見えました。
21	She looked down at the park. She took this photograph.	メイ先生は公園を見下ろします。 メイ先生は写真を取りました。
22	The school made lots of money. They bought lots of things.	学校ではたくさんのお金が入りました。 たくさんのもので買いました。
23	Mrs May was pleased. She gave Wilf a present.	メイ先生は喜びました。 ウィルフにプレゼントを渡しました。
24	'Thank you,' said Wilf.	「ありがとう。」ウィルフは言いました。

Making Questions

いよいよレベル 4 More A も最後の一冊です。本の内容を味わうようなアクティビティを行いましょ。ここでは Why「なぜ」、What「何」、Who「だれ」、Which「どちら」、When「いつ」を使ってたくさん質問を考えてみましょう。

- 1) In 5 minutes, make as much questions as you can. 「5分のできるかぎりたくさん
質問を作しましょう。」
- 2) Show your questions to the rest of the class. 「質問にすべてこたえて。」
- 3) 質問例 : p.2 What was Mrs May's Secret?

Oxford Reading Tree Level 4 More Stories B

- ① Wet Paint [122 語]
- ② Swap! [109 語]
- ③ The Flying Elephant [131 語]
- ④ The Scarf [(220 語)]
- ⑤ The Dragon Dance [192 語]
- ⑥ Everyone Got Wet [200 語]

Wet Paint 「ペンキ塗りたて」 (122 語)

パパがドアをきれいに塗っても塗っても、次から次へと邪魔がはいります。はたしてきちんと塗れるのでしょうか。一生懸命ドアを塗ろうとするパパと、無邪気にふるまう子どもたちのアンバランスが笑いを誘います。

	Wet Paint	ペンキぬりたて
1	Dad was painting the back door. The children were outside.	パパが裏口のドアを塗っています。子どもたちは外にいます。
2	Floppy wanted to come in.	フロッピーは中に入りたがっています。
3	He jumped up. He put his paws on the paint.	飛びあがって、ぬりたての所を前足でひっかきます。
4	Dad painted the door again.	パパはもう一回ドアを塗りました。
5	Biff kicked a ball. The ball hit the door.	ビフはボールを蹴りました。ボールがドアにあたってしまいました。
6	Dad painted the door again.	パパはまたドアを塗りました。
7	Kipper pushed the door. He got paint on his hands.	キッパーがドアを押しました。手にペンキがついてしまいました。
8	Dad was fed up.	パパはいやになってきました。
9	He painted the door again. "What a job!" said Dad.	ドアをもう一回塗りました。「なんていうことなんだ。」
10	Biff and Chip had a pillow fight.	ビフとチップが枕合戦をしています。
11	The pillow split open.	枕が破れてしまいました。

	“Oh no!” said Biff.”	「あら、やっちゃった。」ビフが言いました。
12	The wind blew. It blew the feathers.	風が吹きました。 羽が舞いました。
13	“Oh no!” said Chip. “Wet paint!”	「これはだめだ」チップが言いました。 「ペンキぬりたて！」
14	There was no wet paint. The door had gone.	ペンキ塗りたてではありませんでした。 ドアがなくなっていました。
15	Dad had put up an old door.	パパが古いドアを取りつけていたのです。
16	The back door was inside. “It’s safe here,” said Dad.	裏口のドアは中にありました。 「ここは安全だよ。」パパが言いました。

語句の解説

p.3 paw(s) 前足 p.7 paint ペンキ(数えられない名詞なのでaをつけません)
p.10 pillow 枕 p.11 split 裂ける p.16 There was no~ ~がなかった・いなかった

Reasons

パパが何度も何度もドアをぬらなければならなかったのは、どうしてなのでしょう。本文から理由がわかる文章をそのまま抜き、理由を言う練習をしてみましょう。それにしても最後の最後までいたずらされてしまうパパですね。

- 1) Ask students why Dad painted the door again by saying “Why did Dad paint the door again?”
生徒になぜパパがドアをぬりなおしたのか「なぜパパはドアを塗りなおしたの？」と聞きます。
- 2) 該当のページを開けさせて聞きます。“Underline the parts which describe the reasons.” 「原因がわかる所に線を引きましょう。」

例 p.4 を開いて “Why did Dad paint the door again?”と聞く。原因である箇所を探して線を引く。この場合は、p.3 He (Floppy) jumped up. He put his paws on the paint.

- 3) 2)を because につけて書いてみます。2)例の場合は、Because Floppy jumped up and put his paws on the paint.となります。

Swap! 「交換！」(109 語)

ナディムはお友達のおもちゃを器用に直していきます。古いものを大切に直して使っていく心は大切にしたいです。ナディムはいいやではなく、楽しみながら直している様子なのも好感がもてますね。

ところで p.5 と p.9 にはプレートが飾られています。イギリスのウエッジウッドの工場に行くと、毎年売られている year plate があります。絵のようにお皿を自宅に飾っていくのは、よく見かけることです。

	Swap !	交換 !
1	Nadim found a bat. It was broken.	ナディムがバットを見つけました。 こわれていました。
2	Nadim mended the bat. His dad helped.	ナディムがバッドを直しました。 パパが手伝ってくれました。
3	The bat looked good.	バットは直ったようです。
4	Chip had a robot. The robot was broken.	チップがロボットを持っていました。 ロボットはこわれています。
5	Chip liked Nadim's bat. He swapped the robot for the bat.	チップはナディムのバットを気に入りました。 チップはロボットをバットと交換しました。
6	Nadim mended the robot. He painted it silver.	ナディムはロボットを直しました。 銀色に塗りました。
7	The robot looked good	ロボットは直ったようです。
8	Biff had a skateboard. It had no wheels.	ビフはスケートボードを持っています。 車輪がありません。

9	Biff swapped it for the robot.	ビフはスケートボードをロボットと交換しました。
10	Nadim mended the skateboard. He put on new wheels.	ナディムがスケートボードを直しました。 新しい車輪をつけました。
11	"It's a good skateboard now," he said.	「よし、いい感じのスケートボードになったぞ。」ナディムは言いました。
12	Wilma had a bike. The bike was broken.	ウィルマは自転車に乗っていました。 バイクが壊れていました。
13	She swapped it for the skateboard.	ウィルマは自転車をスケートボードと交換しました。
14	Nadim mended the bike. He painted it black.	ナディムが自転車を直しました。 自転車を黒く塗りました。
15	The bike looked good.	自転車は直りました。
16	"Not bad," said Nadim.	「悪くないな。」ナディムが言いました。

語句の解説

p.2 mend (ed) 直す p.3 look (ed) ~ ~に見える p.5 swap (ped) 交換する

Repair

米国では4月22日はEarth Dayです。この日は地球にやさしくする事を考える日です。日本でも学校で環境問題が扱われています。Swap!の Nadim のように何でも直すことができると、ゴミが減り環境的にも望ましいのです。ペットボトルや新聞紙などを別の形で再利用するのが recycle (リサイクル)、びんなどをもう一度使うのが reuse (リユース)、ゴミを減らすようにするのが reduce (リデュース)です。これらの頭文字を取って3Rと言われています。これらに、断る refuse (リフューズ)と直す repair (リペアー)

を加えて 5R という言い方もされるようになってきています。

- 1) Name the things which Nadim repaired. 「ナディムが直したものをあげましょう。」
- 2) Think of the good points about mending something. 「修理することの利点を考えましょう。」
- 3) Find something which you are not using any more. 「現在使っていないものを、探しましょう。」
- 4) Think of the reasons why they are not in use. 「それらが使われていない理由を考えましょう。」
- 5) Mend them if possible. If not, find a way to recycle them. 「可能ならば直してみましよう。無理ならばリサイクルしましょう。」

The Flying Elephant 「空飛ぶゾウ」 (131 語)

	The Flying Elephant	空飛ぶゾウ
1	Mum went shopping. She took the children.	ママが買い物に行きました。 子どもたちを連れていきました。
2	The children looked up. There was an elephant on the roof.	子どもたちが見上げました。 屋根にゾウがいました。
3	The elephant looked funny.	ゾウはおかしく見えました。
4	The children laughed. “Look at that elephant,” they said.	子どもたちは笑いました。 「あのゾウを見て。」みんなが言いました。
5	“An elephant?” said Mum. “Don’t be silly.”	「ゾウ？」ママが言いました。 「ばかなこと言わないで。」
6	There was a storm. The wind blew.	嵐になりました。 風が吹きます。
7	It rained and rained.	雨が降ってはまた降りました。
8	It was a bad storm. The wind was strong.	ひどい嵐でした。 風が強いです。
9	It blew the elephant away.	風でゾウが飛ばされました。
10	The children went to school. The elephant was in the playground.	子どもたちは学校に行きました。 ゾウはまだ校庭にいました。
11	The children laughed.	子どもたちが笑いました。

12	The children told Mrs May. “Look at that elephant,” they said.	子どもたちがメイ先生に言いました。 「あのゾウを見て。」
13	“An elephant?” said Mrs May. “Don’t be silly.”	「ゾウ？」メイ先生は言いました。 「ばかなこと言わないで。」
14	The children liked the elephant. They wanted it to stay.	子どもたちはそのゾウが好きでした。 そのままにしておいて欲しいと思いました。
15	“Sorry,”said the man. “We want it back.”	「ごめんね」おじさんが言いました。 「返してもらおうからね。」
16	“Look at the elephant,” said Biff. “It was blown up. Now it’s blown down.”	「ゾウを見てよ。」ビフが言いました。 「さっきはふくらんでいたけど、今はぺちゃんこだね。」

語句の解説

p.2 roof 屋根・屋上 p.5 Don’t be silly. ばかなこと言わないで。

p.9 blew (blow) ~away ~を吹き飛ばす

p.14 want (ed) A to B AにBしてもらいたい

The Elephant

- 1) 表紙を見てタイトルを一緒に読んでみましょう。これは本物のゾウかな？
- 2) そして、どうして空を飛んでいるのか一緒に考えてみましょう。
- 3) Listen to the CD. Point to the elephant when you hear the word elephant
「CDを聞きます。ゾウという語が聞こえたらゾウを指差します。ゾウの状態を確認します。」
- 4) Open your books to page 3. 「3 ページを開けます。」 Why do you think the elephant looked funny? 「なぜゾウがおかしいと思いますか。」 みんなでゾウがど

うい感じかを考えてみましょう。

- 5) 過去に読んだお話にも嵐の場面が出てきたかどうか聞いてみましょう。
- 6) 実際の嵐の日には他にどんなことが起こるか考えてみましょう。
- 7) 7 ページの「It rained and rained.」のように、英語では動詞を繰り返すことがあります。他にはどんな例があるか一緒に考えてみましょう。

読んだら感想を持つというのは大切です。このレベル 4 を読めるようになってきたら、意見や感想を持つ癖をつけていきましょう。

The Scarf 「マフラー」 (220 語)

アニーナの家族が出てくる作品です。アニーナは Oxford の Tree Tops シリーズにも登場します。この“The Scarf”からページ数が今までよりも 8 ページ増えて 24 ページになります。長くなった分、お話がさらにおもしろい展開になっています。

	The Scarf	マフラー
1	Anneena liked knitting. She made a scarf.	アニーナは編み物が好きです。 マフラーを編んでいます。
2	Anneena's mum helped her. The scarf was long and warm.	アニーナのママが手伝いました。 長くてあったかいマフラーです。
3	"It's a good scarf," said Anneena.	「すてきなマフラーだね。」アニーナは言 いました。
4	Biff and Chip came to play. It was a cold day.	ビフとチップが遊びにきました。 寒い日です。
5	Anneena put on her scarf. "What a cold day!" she said.	アニーナはマフラーをしています。 「なんて寒いのに！」アニーナは言いま した。
6	Biff looked at Anneena's scarf. "What a long scarf!" she said.	ビフがアニーナのマフラーを見ました。 「なんて長いマフラーなの。」ビフは言 いました。
7	"I made it," said Anneena. "I couldn't stop knitting."	「自分で作ったのよ。」アニーナは言いま した。「編んだらやめられなくなっちゃった の。」

8	The children went to the park. They went to the pond.	子どもたちは公園に行きました。 池に行きました。
9	The pond was frozen. It had ice on it.	池は凍っていました。 氷がはっていました。
10	Some children ran up. They pulled Anneena's scarf.	他の子どもたちもかけよってきました。 アニーナのマフラーを引っ張りました。
11	"Stop it!" shouted Anneena. "Stop it!" shouted Anneena's mum.	「やめて！」アニーナは叫びました。 「やめなさい！」アニーナのママも叫びま した。
12	A boy went on the ice. The ice was dangerous.	男の子が氷の上を歩きました。 氷は危険です。
13	"Get off," shouted Anneena's mum. "The ice is not safe."	「おりなさい。」アニーナのママが叫びま した。「氷は安全ではないのよ。」
14	Anneena's mum couldn't get the boy. She couldn't go on the ice	アニーナのママは男の所に行けません。 氷を歩けないのです。
15	Everyone was frightened. "Help!" shouted the boy.	みんなこわがりました。 「助けて！」男の子が叫びました。
16	Anneena had a good idea. She took off her scarf.	アニーナにはよい考えが浮かびました。 マフラーを取りました。
17	"Make a rope," she said.	「ロープを作ろう。」アニーナが言いま した。
18	Anneena's mum made a rope. She made it out of scarves and coats.	アニーナのママがロープを作りました。 マフラーとコートを使いました。
19	She threw it to the boy.	ママは男の子にロープを投げました。

20	Everyone pulled the rope. They pulled the boy out of the pond.	みんなでロープを引っ張りました。 池から男の子を引っ張り出しました。
21	The boy was safe. “Hooray!” shouted Anneena.	男の子は無事でした。 「やったー！」アニーナが言いました。
22	“I am sorry!” said the boy. “Thank you.”	「ごめんなさい。」男の子が言いました。 「ありがとうございました。」
23	“Ice is dangerous,” said Anneena.	「氷は危険なのよ。」アニーナは言いました。
24	Anneena looked at her scarf. “I’m glad I made it long,” she said.	アニーナはマフラーを見ました。 「長く編んでおいてよかったわ。」アニーナは言いました。

語句の解説

p.1 knitting 編み物 p.5 put on 着る p.9 frozen 凍った p.12 dangerous 危険な
p.15 be frightened 怖がる

Act out

編み物好きなアニーナですが、お友達に手作りマフラーをからかわれてしまいます。それでも自分の思いはつらぬき、からかったお友達をも助けます。今回は CD を何度も聞いて、セリフとナレーターの部分に分けて発音を練習してみましょう。knitting, children, dangerous, frightened など、長めの単語の発音とアクセントに気をつけて聞きましょう。人数がたくさんいる時は、ジェスチャーをして様子を伝える人も作りましょう。

- 1) Make pairs. ペアを作ります。
- 2) Listen to the CD and speak at the same time. CD を聞いて同時に言ってみます。

- 3) One person will be a narrator and the other will speak the dialogues.
ひとりがナレーター、もう一人が会話を言います。
- 4) If there are more than two people, the others should do gestures.
2名よりも多くいる場合は、ジェスチャーをまじえる。

The Dragon Dance 「ドラゴンダンス」 (192 語)

メイ先生のクラスでは、中国のお正月プロジェクトとして、みんなで作ったドラゴンで劇をします。紙で作ったので、せっかくのドラゴンが破けてしまいます。

中国の旧正月は毎年、日程が変わります。水餃子を作り、花火や龍舞などでお祝いします。

	The Dragon Dance	ドラゴンダンス
1	Mrs May made a dragon. The children helped her.	メイ先生はドラゴンを作りました。 子どもたちも手伝いました。
2	Mrs May painted the head.	メイ先生は頭をぬります。
3	The children painted the body.	子どもたちは胴体をぬります。
4	The dragon had a long body. The children liked the dragon.	ドラゴンの胴体は長いのです。 子どもたちはドラゴンが気に入っています。
5	They wanted to do the dragon dance.	子どもたちはドラゴンダンスを踊りたがりました。
6	The children got inside the body. Mrs May helped them.	子どもたちは胴体の中に入ります。 メイ先生が手助けします。
7	"It's made of paper," said Mrs May. "Be careful."	「紙で出来ているからね。」メイ先生は言いました。「気をつけて。」
8	Anneena was inside the head.	アニーナは頭の中にいます。
9	"Be careful," said Mrs May. "Don't tear the paper."	「気をつけてね。」メイ先生が言いました。「紙をやぶかないようにね。」
10	The mums and dads came.	ママたち、パパたちが来ました。

11	The children did the dragon dance. "What a good dragon," said everyone.	子どもたちはドラゴンダンスをしました。「なんて見事なドラゴンなんだろう。」みんなが言いました。
12	Oh no! The dragon dance went wrong.	あーあ。 ドラゴンダンスをまちがえてしまいました。
13	The dragon tore in half.	ドラゴンがまっぷたつです。
14	The children were upset.	子どもたちはがっかりです。
15	"Never mind," said Mrs May. "It was only made of paper."	「気にしないでね。」メイ先生は言いました。「紙でできていただけだから。」
16	Anneena's mum had an idea. She told the mums and dads.	アニーナのママに考えが浮かびました。 ママとパパたちに話しました。
17	"What a good idea," they said.	「なんていい考えなんだ。」みんなが言いました。
18	The mums and dads made a dragon. They made a long body.	ママとパパたちがドラゴンを作りました。 長い胴体です。
19	They made a big head.	大きな頭もつけました。
20	The dragon looked wonderful.	見事なドラゴンにみえました。
21	The children were pleased. They wanted to do the dragon dance.	子どもたちは喜びました。 自分たちもドラゴンダンスをしたくなりました。
22	The children went into town. They did the dragon dance.	子どもたちは町に出かけました。 ドラゴンダンスをしました。
23	"Come to the school fair," said Chip.	「学園祭にきてね。」チップが言いました。
24	"What a lot of people," said Mrs May. "Thanks to the dragon."	「なんてたくさんの人なんでしょう。」メイ先生が言いました。「ドラゴンのおかげね。」

語句の解説

p.5 dragon dance 中国獅子舞 p.9 tear 破く (tear の過去形は tore)
p.15 Never mind. 気にしないで。 made of ～ ～できている

dragon(ドラゴン、獅子)は想像上の動物で古代文献に載っています。驅邪と降福の象徴です。獅子は門の前で家を守っているのです。清の乾隆皇帝の時代に盛んであったと言われていました。中国獅子舞は北方獅子舞と広東省を中心とした中国南部で盛んな南方獅子舞の二つに大きく分けられます。獅子は喜、怒、哀、楽、疑、驚、動、静をあらわします。

Script

みんなでセリフを言えるように、簡単なスクリプトを作成していきましょう。

- 1) 登場人物をあげます。CD を聞いて、名前が出てきたらチェックをしましょう。“Listen to the CD and pick up the characters.”
登場人物: Mrs. May, the children, Aneena, mums, dads, a lot of people
- 2) ひとつひとつセリフを考えていきます。
例: p.1 Mrs May made a dragon.この文章を、メイ先生が発言しているように書きなおします。
“I made a dragon,” said Mrs. May. のように書いていきます。
- 3) 複数の人数がいる場合には、ひとつの役を複数の子どもたちが担当して、全員が何かの役になり読んでいきます。読むときは声のトーン、大きさ、イントネーションなどに気を配って読んでみましょう。

Everyone Got Wet 「みんなぬれちゃった」

物語が進むにつれて、これでもかこれでもかと、次から次へとみんなはびしょぬれになっていきます。洗濯物も増えていっていますね。パパやママはいったい何回着替えたのでしょうか。せっかくの行動が裏目に出ているようですが、ほのぼのした笑いのうずにはひきこまれてしまうお話です。

	Everyone Got Wet	みんなぬれちゃった
1	Dad looked at the water butt. The water butt was leaking.	パパは水の樽をみえています。 水が樽からもれてきています。
2	Mum looked at the hose. The hose was leaking.	ママはホースを見えています。 ホースもやぶけています。
3	“Oh bother!” said Mum.	「あら、困ったわ。」
4	Dad mended the water butt. He put a patch on it.	パパが水の樽を直しました。 たるにつぎはぎをつけました。
5	“What a tricky job!” he said.	「なんて細かい仕事なんだろう。」彼は言いました。
6	The water butt burst. All the water came out.	水のたるが壊れて、水が出てきてしまいました。
7	Dad got wet.	パパはぬれてしまいました。
8	Mum mended the hose. She put a patch on it.	ママはホースを直しました。 ホースにパッチをあてました。
9	“What a tricky job!” she said.	「なんて細かい仕事なんでしょう。」彼女は言いました。
10	Mum put the hose on the tap. The top of the tap came off.	ママが蛇口にホースをつなぎます。 蛇口の先が取れてしまいました。

11	Mum got very wet.	ママはすごくぬれてしまいました。
12	Dad got a new water butt. He put it on the bricks.	パパは新しい水の樽を買ってきました。 ブロックの上に乗せました。
13	He got the hose. He filled up the water butt.	パパはホースを取りました。 水の樽をいっぱいになりました。
14	The water butt fell over.	水の樽が倒れてしまいました。
15	The water poured out. Dad got wet again.	水がこぼれ出てしまいました。 パパはまたぬれてしまいました。
16	Mum got a new hose. She joined it to the old hose.	ママは新しいホースをつけました。 古いホースにつなぎました。
17	She wanted to water the roses.	ママはばらの水やりをしたいのです。
18	Kipper wanted to help. He turned the tap on.	キッパーはお手伝いをしようとしました。 蛇口を開きました。
19	Mum got wet again. “Oh no!” said Mum.	ママがまたぬれてしまいました。 「きゃー」ママが言いました。
20	The children got the paddling pool. They put it on the grass.	子どもたちはビニールプールを出しまし た。芝生の上に置きました。
21	Dad got the new hose. Biff turned on the tap	パパは新しいホースを持ちました。 ビフが蛇口を開きます。
22	No water came out of the hose. “Funny!” said Dad.	水がホースから出てきません。 「おかしいな。」パパが言いました。
23	He looked down the hose.	パパがホースを見てみました。
24	Oh no! The children got wet.	きゃー！子どもたちがぬれちゃった。

語句の解説

表紙 got wet (get wet) ぬれた p.1 butt 液体を集めたり保存する入れ物
leaking もれている p.4 mend (ed) つくろう、直す patch つぎはぎ、あて布
p.6 burst 吹き出す p.12 brick (s) レンガ p.13 fill (ed) up でいっぱいにする
p.14 fell over (fall over) ひっくり返った、倒れた p.15 poured out (pour out) 流れ出た
p.16 join (ed) つなげた p.17 water 水やりをする
p.18 turn (ed) on 栓をゆるめる、押す、スイッチなどを入れる
p.20 paddling pool 小さい子どもたちがぱしゃぱしゃ遊ぶ浅いプール

Intonation

- 1) Listen to the CD.「CDを聞きます。」
- 2) Using your hands, show the intonation. 「腕と手を使ってイントネーションを示しましょう。」 If the sentence has a rising intonation, you put out your hands facing upward. 「上がり調子のときは、腕を上に向かって伸ばします。」 If it goes down, put out your hands facing downward. 「下がり調子の時は下に手を向けます。」指揮者になったような気分で、CDに合わせて、イントネーションのままに手を動かしていきましょう。はじめから完璧にはできません。わかる所からはじめましょう。

Oxford Reading Tree Level 4 More Stories C

- ① Dad's Jacket
- ② Stuck in the Mud
- ③ The Den
- ④ Look Smart
- ⑤ Tug of War
- ⑥ An Important Case

Activities

【Glossary (語彙集)】

本文に出てくることば

Level 4 More Stories C に出てくることば

Dad's Jacket 「パパのジャケット」

—ジャケットのゆくえは—

週末に、家を開放してセールを行う光景はめずらしくありません。しかし今回は特別です。Children in Need のために開かれているのです。

Children in Need

● 1980 年から BBC は Children in Need というチャリティーを行っています。これは、困っている子どもたちを救うための献金活動です。親または子ども自身がアルコール中毒・麻薬中毒である場合、子どもたちがいじめ、売春、病気、HIV 感染、性的犯罪、体が不自由などにより困っているのを救うための活動です。Pudsey という片目に包帯をしたテディーベアーがトレードマークです。
(BBC の ホーム ページ では 献 金 も 受 け 付 け て い ます 。
<http://www.bbc.co.uk/pudsey/donate/>)

献金には、体が不自由な人に対してなどは、献金というよりも偏見を捨てるべきだという反対意見もあります。

この“Dad's Jacket”では子どもたち自身が“Children in Need”のために資金を得るためにがんばっています。

英語のいいかえを見抜く

英語の文章を読んでいると、日本語よりも言いかえが多い事に気づくでしょう。he, she, it, his, この本にもたくさん出てきます。文章を読むコツのひとつは、それらが何を言いかえたものなのか確認しながら読むようにすることです。

お話を読みながら、言いかえた部分が出てきたら、絵でそれが何かを指してみましょ。日本語に直す必要はありませんが、原文で何の代わりかがわかるように意識しましょ。慣れてくるとそんなことを考えなくとも、自然に指しているものを意識しながら話を読めるようになります。

以下は、Dad's Jacket に出てくるいいかえの言葉です。言いかえている言葉のもとの言葉は本に出ている原文のままです。そのまま書かれていないものについては日本語で書いてあります。

p.2 They (絵に描かれている子どもたち) p.3 It (a poster) p.6 She (Aneena)
p.7 he (Dad) p.10 his (パパの) p.11 it (パパのジャケット) p.12 he (Dad)
p.13 it (my jacket) p.14 He (Dad) p.16 he (The man)

Dad's Jacket	パパのジャケット
1 The children put some tables outside.	子どもたちはテーブルを外に出しています。
2 They wanted to help children in Need.	困っている子どもたちを助けたいのです。
3 Chip made a poster. It said, "Help Children in Need."	チップがポスターを作りました。 「困っている子どもたちを助けよう。」と書きました。
4 Biff and Nadim had some plants.	ビフとナディムは植物の係りです。
5 Kipper and Wilma had some clothes. Wilf had some books.	キッパーとウィルマは洋服。 ウィルマは本の係りです。
6 Anneena had a good idea. She invented a game.	アニーナによいアイデアが浮かびました。アニーナはゲームを考え出しました。
7 Dad looked at Anneena's game. "Let me have a go," he said.	パパはアニーナのゲームを見ています。「やってみよう。」と言いました。
8 A man put Dad's jacket on. "It's a good fit," he said.	おじさんがパパのジャケットを着ました。「ちょうどよい。」おじさんは言いました。

9	“It’s five pounds,” said Wilma. The man bought the jacket.	「5 ポンドです。」ウィルマが言いました。おじさんはジャケットを買いました。
10	Dad looked for his jacket.	パパがジャケットを探しています。
11	“Oh no!” said Wilma. “I’m sorry. A man bought it.”	「あらいやだ。」ウィルマが言いました。「ごめんなさい。おじさんが買ってしまったわ。」
12	Dad ran after the man. “Stop!” he called. “That’s my jacket.”	パパがおじさんを追いかけます。「待って！」パパが叫びました。「それは、私のジャケットです。」
13	“No, it’s my jacket,” said the man. “Give me ten pounds for it.”	「いいえ、私のジャケットですよ。」おじさんは言いました。「10 ポンド下さい。」
14	“Oh no,” said Dad. He gave the man ten pounds.	「あーあ。」パパはおじさんに 10 ポンド払いました。
15	The man gave the jacket to Dad.	おじさんはパパにジャケットを渡しました。
16	The man gave Wilma ten pounds. “It’s for Children in Need,” he said.	おじさんはウィルマに 10 ポンド渡しました。「それは困った子どもたちへだよ。」とおじさんは言いました。

Stuck in the Mud 「沼にはまって」

—あの鳴き声は?—

長靴をはいてのお散歩。泣き声の方に行くと羊が沼にはまっています。助けてあげられるでしょうか。このお話の最後の 16 ページは、ユーモアにあふれています。楽しむユーモアの感覚というのは、イギリスなど欧米では重要視されているようです。同じレベル 4 の Nobody Got Wet (More Stories A) や Everyone Got Wet (More Stories B) も同じような終わり方をしています。

動物の鳴き声

動物の鳴き声はどここの国でも同じはずなのに、不思議なことに鳴き声を書き言葉で表すと国によって異なります。日本では「メーメー」と鳴く羊もイギリスでは“Baa, Baa”と鳴くのですね。牛は moo, moo 馬は neigh, neigh ブタは oink, oink などどれもちがいます。

夜寝付けないうちに、ひつじが一匹、二匹と数えていきます。これは、英語の sheep と sleep をかけたものだとも言われています。また、キリスト教では信者が羊にたとえられます。羊が従順な性格であり、純粹潔白なイメージとされています。

状況を把握しよう

お話を読んでいく時には、時間、場所、登場人物、何をどうしたのか、どのようになのかを把握していきます。物語はたいてい、だれがどうしたお話というようにまとめられる場合が多いです。

表紙をみるとみんなが羊を眺めています。どんな格好をしているのでしょうか。長袖で、思いなしか空気も冷たいような様子が伝わってきます。p.2 と p.3 の木々は葉

がついているものもありますが、落ちているものも見られます。季節はいつでしょう。

p.1 には、長靴姿の 4 人とフロッピーがいます。ビフ、チップ、ウィルマとパパです。うさぎもいます。散歩に出かけた先は、沼のほとりです。そこで最初に何かの鳴き声が聞こえたときに、チップが p.3 で“What was that?”と聞いています。近づいてきた p.4 では“What is that?”と聞いています。そこからが大変。沼にはまってしまった羊救出のために、一生懸命ひっぱったり押ししたりします。

さて、教室で読んでいる場合には、絵本を読む楽しさをそこなわない程度に、お話の展開を生徒に質問してみるのもひとつの方法です。ある程度英語力がある生徒に関しては、個々に異なる Level 4 の本を読んで、お互いにお話を教えあうという活動も効果があります。

	Stuck in the Mud	沼にはまって
1	The children went for a walk. It was a muddy walk.	子どもたちは散歩に出かけます。 どろどろの散歩です。
2	“What a muddy path!” said Biff.	「どろんこ道だわ。」ビフが言いました。
3	“Baa! Baa!” “What was that?” asked Chip.	「めー！めー！」「何の声だった？」 チップが聞きました。
4	“Baa! Baa!” “What is that?” asked Wilma.	「めー！めー！」「何の声だろう？」 ウィルマが聞きました。
5	“It’s a sheep,” said Dad. “Put Floppy on a lead.”	「羊だね。」パパが言いました。 「フロッピーをつなごう。」
6	“Oh no!” said Chip. “A sheep is stuck in the mud.”	「あれえ！」チップが言いました。 「羊が沼にはまっている。」
7	The sheep couldn’t get out. The mud was too deep.	羊は抜け出せませんでした。 沼が深すぎました。
8	“Help me get it out,” said Dad.	「出してあげるのを手伝って。」パパ が言いました。
9	Dad went to help the sheep.	パパは羊を助けに行きました。

	He sank into the mud.	沼に沈んでしまいました。
10	Wilma and Chip went to help.	ウィルマとチップが助けに行きました。
11	They sank into the mud.	ウィルマとチップは泥沼にはまってしまいました。
12	Dad pushed. Wilma and Chip pulled.	パパが押しました。ウィルマとチップが引っ張りました。
13	They got the sheep out. “Baa! Baa!” went the sheep.	みんなで羊を引き上げました。 「めー！めー！」羊が鳴きました。
14	Wilma and Chip were muddy. Dad had lost a boot.	ウィルマとチップはどろどろになりました。 パパの長靴が一足ぬげてしまいました。
15	Wilma went to get Dad’s boot.	ウィルマはパパの長靴を取りにいきました。
16	Help!” said Wilma. “Now I’m stuck!”	「助けて！」ウィルマが言いました。 「今度は私がはまっちゃった。」

The Den 「あそび小屋」

—手作りの小屋で—

せっかく小屋を作ったのに、長雨で早く外に出たい！読んでいるとそんな気持ちになってきます。The Den のように木の枝で小屋を作るなんて、子どもたちのあこがれです。それを優しく見守るパパは、きっと辛抱強くアウトドア派。

子どもを大勢で遊ばせるときには、楽しむだけでなく危ないであろうことを注意することも必要です。木々を集める場合には、とがった先を相手の顔に向けないようにさせましょう。小屋を作るにはテントはり同様、吹き飛ばないようにしっかりと地中に杭を埋め込まないとなりません。風でひっくりかえって、支えている木々が人にささると危険です。

つなぎ言葉

but「しかし」(p.8)という言葉は、子どもには抽象的でとらえにくい場合があるようです。but が出てきたら、その前後は対照的なものが出てきている可能性が高いわけです。The children sat in the den but it began to rain. 小屋にすわってこれからという時に、雨が降ってしまったというがっかりした気持ちが but に表れています。このように文章にはいろいろなつなぎ言葉が出てきます。つなぎ言葉の意味を覚え、使い方を知っておくと文章がグッと読みやすくなります。

発音練習

The Den には st-で始まることばが繰り返して出てきます。st と発音した時に、日本語のように母音が残らないように練習してみましょう。Stream, sticks, straw, stop などが出てきています。日本語の「す」よりも"s"は口を横に開いて前の方で音を出すとうまういきます。

発音を練習する時には、CD をかけながら同じように繰り返して言いながら練習してみましよう。

The Den

- 1 The children were by the stream. Wilf had an idea.
- 2 Wilf found some sticks.
- 3 "Let's make a den," he said. "Put the sticks like this."
- 4 They all found some sticks.
- 5 Chip found lots of branches and Wilma found some straw.
- 6 Biff found some logs.
- 7 "We can sit on them inside the den," she said.
- 8 The children sat in the den but it began to rain.
- 9 The rain splashed into the den. "I'm getting wet," said Kipper.
- 10 "We're all getting wet," said Dad. "It's time to go."
- 11 "Can we come back soon?" asked Biff.
- 12 It rained all week. The children couldn't go out to play.
- 13 They wanted the rain to stop. They wanted to go back to the den.

あそび小屋

子どもたちは小川のそばにいます。ウィルフが思いつきました。ウィルフは棒を見つけました。「小屋を作ろうよ。」ウィルフはいいました。「こんなふうに棒を立ててさ。」みんなが棒を見つけってきました。チップはたくさん枝を見つけて、ウィルマはわらを見つけてきました。ビフは丸太を見つけてきました。「小屋の中で丸太にすわれるね。」ビフが言いました。子どもたちは小屋にすわりましたが、雨が降ってきてしまいました。雨が小屋にポツポツ流れ込みました。「ぬれてしまう。」キッパーが言いました。「みんなぬれちゃうね。」パパが言いました。「もう行かなきゃ。」「すぐに戻れる？」ビフが聞きました。一週間雨が降り続けました。子どもたちは外に遊びいけませんでした。子どもたちは雨が止んでほしいと願いました。小屋に戻りたかったのです。

- | | | |
|----|--|-------------------------------|
| 14 | The rain stopped. The children went back to the den. | 雨が止みました。子どもたちは小屋に戻ってみました。 |
| 15 | “Oh no!” said Wilma. “We can’t play in the den!” | 「ああ！」ウィルマが言いました。「小屋の中で遊べないわ。」 |
| 16 | “Shh!” said Wilf. | 「シー！」ウィルフが言いました。 |

Look Smart 「おめかしして」

—おめかしして行く先は—

せっかく新調したお洋服でお出かけののですが、あらあら。

英語の smart は日本語の「スマート」とはちがう意味で使われます。おしゃれな、こぎれいな、賢い(米)、きびきびした、高機能のなどの意味があります。日本語で同じような発音の言葉があっても、英語とは意味が異なる場合があります。

lorry はイギリス英語でトラックを指しますが、最近ではイギリスでも truck も使われるようになってきました。

表現を使ってみよう

英語の表現が出てきたら、実際に使ってみると自分のものになります。Look Smart には使いやすい表現が満載です。言葉を入れかえながら、生活の中でどんどん使ってみましょう。表現を使うときには、はじめから会話のやりとりを期待するのではなく、相手に言いつばなしでよいのです。徐々に英語でやりとりできるように慣れていきましょう。

- Put it on. 「着てみて」 put on は明かりやテレビをつける時にも使います。
- I want you to look smart. 「あなたにおしゃれしてほしいのよ。」 smart の部分を strong 「強い」など他の単語に入れかえて、「～に見えてほしい」という言い方をします。
- You want me to look smart. 「僕におしゃれしてほしいんだね。」相手が自分に対して～と見えるように望んでいたらこれです。smart を入れかえて使ってみよう。

- A cup fell over. fall over は「転ぶ・倒れる」の意味です。ひっくり返ってしまった時、つまずいた時などに使う表現です。
- go over は越える、調べる、見直すなどの意味があります。Go over your essay. 「エッセイを読み返してみよう。」
- Lipstick on my dress. 「口紅がワンピースについてしまった。」 on は接していることを示します。on にはいろいろな使い方があります。

	Look Smart	おめかしして
1	Mum had been shopping.	ママがショッピングに行ってきました。
2	Biff had a new dress.	ビフには新しいワンピースを。
3	Chip had a shirt and Kipper had a new top.	チップにはシャツ、キッパーには新しいポロシャツを買ってきました。
4	Biff looked at the dress.	ビフはワンピースを見てみました。
5	“Put it on,” said Mum. “I want you to look smart.”	「着てみて。」ママが言いました。「あなたにはすてきにしてほしいのよ。」
6	Kipper looked at the top.	キッパーはポロシャツを見ました。
7	“Put it on,” said Mum. “I want you to look smart.”	「着てみて。」ママが言いました。 「かっこよくしてほしいのよ。」
8	“Come here, Chip,” said Mum. “Put on this shirt.”	「チップこっちに来て。」ママが言いました。 「シャツを着てみて。」
9	“I know,” said Chip. “You want me to look smart.”	「わかったよ。」チップが言いました。「かっこよくしてほしいんでしょ。」
10	Dad came in with a tray. He fell over a bag.	パパがトレイを持ちながら入ってきました。バッグにつまずいてしまいました。
11	A cup fell over.	コップが倒れてしまいました。
12	Some chocolate went over Kipper’s top.	チョコがキッパーのポロシャツについてしまいました。
13	“Oh no!” said Kipper. “Chocolate all over my top.”	「あーあ。」キッパーが言いました。 「ポロシャツがチョコレートだらけになっちゃったよ。」

- | | | |
|----|--|--|
| 14 | Biff sat down. She sat on Mum's lipstick. | ビフがすわりました。ママの口紅の上ですわってしまいました。 |
| 15 | "Oh no!" said Biff. "Lipstick on my dress." | 「あらあ！」ビフが言いました。「ワンピースに口紅がついちやった。」 |
| 16 | Floppy ran in with muddy paws. He jumped up at Chip. | フロッピーがどろんこ足で走って入ってきました。チップに飛びつきます。 |
| 17 | "Oh Floppy!" said Chip. "Mud all over my shirt." | 「あーフロッピー！」チップが言いました。「シャツがどろんこだよ。」 |
| 18 | "I can put on my old top," said Kipper. | 「脱いだのを着るから。」キッパーが言いました。 |
| 19 | "No," said Mum. "I want you all to look smart." | 「ダメよ。」ママが言いました。「みんなにかっこよく見えてほしいのよ。」 |
| 20 | "Smart clothes," said Mum. "Put them on." | 「すてきな洋服をね。」ママが言いました。「着てね。」 |
| 21 | The children put them on. | 子どもたちは洋服を着ました。 |
| 22 | They set off for the party. A lorry went by. | みんなはパーティーに出かけました。トラックが通りすぎました。 |
| 23 | Splash! | バシャーン！ |
| 24 | "What a good job!" said Dad. "Nobody looks smart." | 「ちょうどいいじゃないか！」パパが言いました。「おしゃれしてきた人は誰もいないね。」 |

Tug of War 「つなひき」

—子どもたちがしかけたいたずらとは—

つなひきを懸命にひっぱるパパ。p.19 ではかなり歯をくいしばっています。でもいくらがんばっても子どもたちにはかなわないようです。

Tug of War に出てくる公園は、ゴミひとつ落ちていません。イギリスにはたくさん公園があります。このように普段からゴミを落とさないように、ひとりひとりが気をつけられるといいですね。イギリスは公園だけでなく、庭もきれいに整備されている印象があります。

英語で書いてみよう

英語で文章を書くときには、日本語と大きくちがう点があります。

- 大文字の使い方。文頭、固有名詞の一文字目などでは大文字を使う。
- 文字として大文字と小文字を使う。
- 単語と単語のスペースをひとつひとつ開ける。
- 疑問文にはクエスチョンマークをつけるなどのパンクチュエーションに注意する。

Tug of War には感嘆符(!)が頻繁に出てきます。CD を聞くとここは強く読むことで強調されています。また、英語を読むことには慣れていても、あまり書くのが得意でないという方の場合には、書きうつすのもよい訓練になります。終止符は full stop (英)または period (米)とも言います。

	Tug of War	つなひき
1	The children went to the park. They went with Mum and Dad.	子どもたちは公園に行きました。 パパとママといっしょです。
2	They went to the stream.	小川の所に行きました。
3	Chip saw a rope. It was by a tree.	チップはロープを見つけました。木のそばにありました。
4	Dad had an idea. "We can skip," he said.	パパはひらめきました。「なわとびをしない。」パパは言いました。
5	He tied the rope to the tree	パパはロープを木に結びました。
6	Dad and the children began to skip. "Go on, jump!" said Mum.	パパと子どもたちは飛びはじめました。「さあ続けてジャンプ！」ママが言いました。
7	"Jump! Jump! Jump!"	「ジャンプ！ジャンプ！ジャンプ！」
8	They all jumped. They jumped too soon.	みんな飛びました。早めに飛びすぎました。
9	Whoops! They all fell over.	おっと。みんな倒れちゃいました。
10	Mum had an idea.	ママがひらめきました。
11	"Let's have a tug of war," she said.	「つなひきをしようよ。」ママが言いました。
12	Dad threw the rope over the stream.	パパが小川の向こうにロープを投げました。
13	Mum went over the bridge.	ママは橋を渡ります。
14	The children began to pull.	子どもたちは引っ張りはじめました。
15	Mum and Dad began to pull.	ママとパパも引きはじめました。
16	"Easy," said Wilf, and he let go.	「簡単さ。」ウィルフが言い、手を離しました。
17	Mum and Dad pulled and pulled.	ママとパパはひっぱって、ひっぱります。
18	"Easy," said Wilma, and she let go.	「簡単よ。」ウィルマが言い、手を離しました。
19	Mum and Dad pulled and pulled.	ママとパパは思い切りひっぱります。

20	“Easy,” said Biff and Chip, and they let go.	「簡単だ。」ビフとチップが言い、手を離しました。
21	“Pull, Dad!” called Wilma.	「パパひっぱって！」ウィルマが叫びました。
22	“Easy,” said Kipper. “Look at me.”	「簡単さ。」キッパーが言いました。「ボクをみてよ。」
23	He pulled Mum and Dad into the stream.	ママとパパは小川に引き寄せられてしまいました。
24	“Easy,” said the man.	「簡単さ。」おじさんが言いました。

An Important Case 大切なかばん

—キッカーは大切にみえるケースを見つけて—

An Important Case には長い単語が出てきます。長い単語はどこにアクセントを置くのか、CD を聞くとときに注意して聞くようにしましょう。日本語はあまり強弱がはっきりしていない言葉なので、英語を話すときには強弱を意識するようにしましょう。

では、この本で一番長い単語は何でしょうか。

“What is the longest word in this story?”

答えは、sandwiches です。

他に長い単語は、important, football, children, outside, officer, couldn't などです。単語のどこが強く読まれているのか、CD をよく聞いてみましょう。

アクセントをマークしよう

- 1) どこが強く読まれているの考えながら、important, football, children, outside, officer, couldn't を発音してみましょう。
- 2) 一番強い部分を発音するときに、手をたたいてみましょう。
- 3) 次に本を開いて CD を聞きながら、1) の単語が出てきたら指で強く発音された所をマークしていきます。

An Important Case

- 1 The children were outside.
They were playing football.
- 2 Wilf kicked the ball. It landed
in a bush.

大切なかばん

- 子どもたちは外にいきました。
サッカーをしています。
- ウィルフがボールを蹴ったら、しげみ
に入りました。

3	"Sorry," said Wilf.	「ごめんなさい。」ウィルフが言いました。
4	Wilf couldn't get the ball.	ウィルフはボールを取れませんでした。
5	"I can get it," said Kipper.	「取れるよ。」とキッパーが言いました。
6	Kipper found a case.	キッパーがアタッシュケースを見つけました
7	"Look at this," he said. "I found it in the bush."	「これを見て。」キッパーは言いました。茂みで見つけたんだ。
8	Dad looked at the case.	パパがアタッシュケースを見ました。
9	He couldn't open it.	開けられません。
10	Wilf looked at the case.	ウィルフがアタッシュケースをみました。
11	"What can be in it?" he asked. "It looks important."	「いったい何だろう？」ウィルフは聞きました。「大切そうに見えるね。」
12	"What is in it?" asked Wilma.	「中身はなに？」ウィルマが聞きました。
13	"I don't know," said Chip, "but it looks very important."	「わからない。」チップが聞きました。「でもとても大切そうだね。」
14	"What is in the case?" asked Kipper.	「アタッシュケースには何が入っているの？」キッパーが聞きました。
15	"I don't know," said Biff, "but it looks very, very important."	「わからない。」ビフが言いました。「でもとてもとても大切そう。」
16	"What is in this case?" asked Dad.	「何が入っているんだい？」パパが聞きました。
17	"We don't know," said the police officer, "but it is very important."	「わかりませんね。」警官が言いました。「とても大切そうです。」

18	A man came in a big car. "Who is he?" asked Kipper.	男の人が大きな車で乗りつけました。 「だれだろう？」キッパーが聞きました。
19	"I don't know," said Dad, "but he looks important."	「わからないよ。」パパが答えました。 「でもえらい人みたいだね。」
20	The man took the case.	男の人はアタッシュケースを受け取りました。
21	"It's my case," he said. "Thank you. It was stolen. It is very important."	「私のアタッシュケースです。」男の人は言いました。「ありがとうございます。盗まれてしまったものです。とても大切なアタッシュケースなのです。」
22	The man got in the car.	男の人は車に乗りました。
23	"Excuse me," said Wilma. "What is in the case?"	「すみません。」ウィルマが言いました。「アタッシュケースには何が入っているのですか？」
24	"Ah!" said the man. "My sandwiches."	「ああ！」男の人が言いました。「ボクのサンドイッチですよ。」

Activities

教室でレッスンをする場合のアクティビティーです。

When and Where

5W1H で遊ぶゲームです。

用意するもの: Level 4 More Stories C 6冊・名詞大からはがき大の同じ大きさのカードを 24 枚。

1) Level 4 の 6 冊を使います。6 人ならばひとり一冊を担当して、7 名以上の場合は人数に合わせて担当を決めます。

2) それぞれの本からいつ、どこで、だれが、どうしたのかを抜き出します。5W1H の中からまずは 4 つについて考えます。

3) “2)” をひとつずつ書きます。

例: Dad's Jacket より。いつ(in the afternoon) どこで(outside the house) だれが(a man) どうした(bought Dad's jacket by mistake but gave Wilma ten pounds for Children in Need)

4) 全部をひとつにまとめます。ひとり 4 枚ずつ配ります。

5) プレイヤーは、ババ抜きの要領で違う種類を 4 枚集めていきます。

6) ひとりが揃ったら、その人物が勝ち。揃っていない人も全員集まったカードで何がどうしたのかの文章を作ってみます。

聞き取りゲーム

あらかじめ決めておいた音を、CD をかけて聞き取るゲームです。発音を集中して聞くので、物語を楽しめないという点がありますが、生徒は結構集中してのぞみます。

- 1) 聞き取る音を決めます。たとえば f を聞き取ることにします。f と書いた文字を見せて、何度か発音を練習します。
- 2) CD をかけて、f の音が聞こえるたびに手をあげてもらいます。恥ずかしいがりの生徒がいる場合には、全員が自分の胸の前で小さく手をあげるようにすると他から見えません。手をあげることで、誰が聞き取れているのか、また生徒自身も音の確認ができます。
- 3) もう一度 CD をかけます。今度は手をあげずにその音が何回出てきたかを聞き取ります。
- 4) 最後に何回出てきたかを全体に聞きます。しかし、ここでは数を数えることはさほど重要ではありません。数を数えてもらうことで、一生懸命聞いてもらうのが目的です。

Glossary (本文:アルファベット順)

英単語	意味
baa	メー(羊の鳴き声)
began to ~ (begin to~の過去形)	~し始める
boot	ブーツ
bought (buy の過去形)	買った
branch(es)	枝(一般的に枝というときには branch を使う)
bridge	橋
bush	低木
case	ケース
clothes	服・衣服
come in	入ってくる
couldn't (could not)	できなかった
deep	深い
den	「子どもたちの内緒の遊び場、野生の動物の住む穴」 参考(to beard the lion in his den (文): to go to see an important or powerful person to tell them, that you want sth, etc.)
fall over	倒れる・転ぶ
football	[英]サッカー [米]フットボール
found (find の過去形)	見つけた・探した
gave (give の過去形)	渡す・支払う・あげる
get(ting) wet	ぬれる
go out	外出する・出かける
go over	渡る・越える
got out (get の過去形)	外に出した、脱出させた

have a go	試しにやってみる
important	重要である
in need	危急のとき
invent(ed)	作り出す・発明する
It's time to ~	~する時間
land	つく・着陸する
lead	ひも(犬をつなぐ)
lipstick	口紅
log	丸太
lorry	トラック
mud	泥・ぬかるみ
muddy	泥だらけの
path	道・歩道・通路
paw(s)	つめのある動物の足
plant(s)	植物
police officer	警官
put on	着る
ran after (run after の過去形)	の後ろを追う・追跡する
sank (sink の過去形)	沈んだ
saw(see の過去形)	見た
set off for	出かける・出発する
sheep	羊
skip	軽くとぶ・飛び越す
smart	フォーマルウエアなどきちんと着飾る・ きれいできちんと見える
splash	はねる
splash(ed) into ~	パシヤンと~にはねる・落ちる
stick(s)	棒・小枝・つえ
stolen (steal の過去分詞)	盗まれた
straw	わら

stream	小川・流れ
stuck	動けない・避けられない
threw(throw)	投げた
tie(d)	結ぶ
top	上半身に着るもの(ポロシャツ・ブラス ス・セーターなど)
tug	強く引く
tug of war	つなひき
want(ed) A to~	A に~してほしい
Whoops	ワーという叫び

英単語	意味
baa	メー(羊の鳴き声)
began to ~ (begin to~の過去形)	~し始める
boot	ブーツ
bought (buy の過去形)	買った
branch(es)	枝(一般的に枝というときには branch を使う)
bridge	橋
bush	低木
case	ケース
clothes	服・衣服
come in	入ってくる
couldn't (could not)	できなかった
deep	深い
den	「子どもたちの内緒の遊び場、野生の 動物の住む穴」 参考(to beard the lion in his den (文): to go to see an important or powerful person to tell them, that you want sth, etc.)

fall over	倒れる・転ぶ
football	[英]サッカー [米]フットボール
found (find の過去形)	見つけた・探した
gave (give の過去形)	渡す・支払う・あげる
get(ting) wet	ぬれる
go out	外出する・出かける
go over	渡る・越える
got out (get の過去形)	外に出した、脱出させた
have a go	試しにやってみる
important	重要である
in need	危急のとき
invent(ed)	作り出す・発明する
It's time to~	~する時間
land	つく・着陸する
lead	ひも(犬をつなぐ)
lipstick	口紅
log	丸太
lorry	トラック
mud	泥・ぬかるみ
muddy	泥だらけの
path	道・歩道・通路
paw(s)	つめのある動物の足
plant(s)	植物
police officer	警官
put on	着る
ran after (run after の過去形)	の後を追う・追跡する
sank (sink の過去形)	沈んだ
saw(see の過去形)	見た
set off for	出かける・出発する
sheep	羊

skip	軽くとぶ・飛び越す
smart	フォーマルウェアなどきちんと着飾る・きれいできちんと見える
splash	はねる
splash(ed) into ~	パシヤンと～にはねる・落ちる
stick(s)	棒・小枝・つえ
stolen (steal の過去分詞)	盗まれた
straw	わら
stream	小川・流れ
stuck	動けない・避けられない
threw(throw)	投げた
tie(d)	結ぶ
top	上半身に着るもの(ポロシャツ・ブラウス・セーターなど)
tug	強く引く
tug of war	つなひき
want(ed) A to~	Aに～してほしい
Whoops	ワーという叫び

Level 4 More Stories C のイラストに出てくることば

イラストを見ながらお子さんとお話する時に、絵の中の単語をリストアップしました。

Dad's Jacket			
をつるす	hang out	植木鉢	flowerpot
小銭入れ	purse	洗濯ばさみ	clothespin
Stuck in the Mud			
切り株	stump	煙突	chimney
柵	fence		
The Den			
bough	大枝	twig	小枝
枝から出ている 葉・若枝	sprig	どしゃ降り・大 雨	downpour
白鳥	swan		
Look Smart			
紙袋	paper bag	花びん	vase
ぞうきん	dustcloth		
Tug of War			
庭師	gardener	ベビーカー	(英)pushchair (米)stroller
An Important Case			
札束	wad	携帯電話	mobile phone (米)cell phone
金塊	gold nugget	極秘事項	top secret